

【知力・努力・向上心・挑戦】目指す、第一志望大学！！

2024年度 春期講習へのご案内 大学進学塾 灘ゼミ

高校本科ゼミは、1教科・1講座からの受講が可能です。2講座目から割引 new!あり。体験授業は無料です。

灘ゼミの英語

- ・【大学入試英語以前（基盤）】発音・音読重視 new!。英語と国語に特化した大学進学塾だから、日本語音声学と英語音声学の知識や理論に依拠する講師が、分かりやすく、理にかなった説明で発音や音読方法を解説します。受講生は仕組みを理解し、その場で実践することでサステナブルな英語学習の基盤を確立できます。例えば日本語と英語の舌の位置や動きの違い、カタカナ発音と英語音声との音節数、強弱の違いなどが、分かりやすい日本語での説明と口腔断面図や数字などにより解説されます（即興で電子黒板に板書されます）。ネイティブの発音やリスニング音源を聴くだけではわからないことを知識として学べ、その場で音読できるので身につけやすい学びとなります。その価値は、目的が単にきれいな発音で話すことを目指すということではなく、速読化する大学入試（共テ）や大学進学後のTOEICなどに対応できる速読力の基盤形成にあり、適切で意義ある音読が長文黙読時の速度アップに資することにあります。副次的には、音読を適切に行えることで自信が芽生え、前向きな英語学習の動機付けともなります。大学入試までにまだ時間のある中学生や高1、2生に長文速読につながる発音学習・音読実践をおすすめします。
- ・【灘ゼミの読解速読化メソッド】〈必要な人にだけおすすめ、特に苦手な人〉自分の目標やレベルにあったテキストで〈①黙読→②音読→③速音読→④速黙読〉を実践します。いずれも最低限の意味の理解を伴わせることが重要です。従って語彙・文法・構文の知識が必須です。②③の発音・音読は講師がその場で修正し、適切な方法を解説します。①②は英検2級までの2次試験（スピーキングテスト）のページ音読と同じ方法、③④はその発展レベルであり、特に④は入試の長文読解を想定して実践します（詳細は授業で）。
- ・【共通テスト英語R】前年に続き本年の共テリーディングも難化しました（2023年平均53.81→2024年51.54点）。常に時短を意識し大量の英文を読みつつ、設問の意図に添う瞬発的な判断力が要求されます。灘ゼミでは、音読と黙読の2つのアプローチを受講生の必要性に応じて適宜適切に組み合わせるメソッドにより、理解を伴う速読スキルを高めめます。またイラスト、図表、ポスターなど視覚的な要素を多く含む共テRにおいて、文字情報の理解のみにとどまらず、総合的に直感/直観・推理/推論・想像力を駆使して、全てを読まずとも正答に至るトレーニングを実践します。受講生のリーディング力の向上は、灘ゼミの本年度の大きな目標の一つです。
- ・【共通テスト英語L】2021年の共テ初回実施以来、素点でRと同じ100点にとりRと対等の地位に格上げされたかに見えますが、結局傾斜配点で圧縮されてしまう共テL。しかしながら、灘ゼミではリスニングを英語総合力向上の不可避のスキルと見据え、日本語音声との違いを踏まえた英語音声に関する知識を提供し、受講生はそのメカニズムを理解することで聴解力を高め、聴き取りに対する不安を払拭します。また音声聴き取りの正確性のみに拘泥しすぎることなく、リーディング同様、直感/直観・推理/推論・想像力を駆使して選択肢を絞り込み、全てを聴き取れなくとも正答する確率を高めめます。
- ・【国立二次英語】前年度京大の長文読解の問題形式（第1、2問）はすべて和訳となりましたが、本年度は記号問題が復活しました。他方2年続いた第4問会話文中の自由作文は姿を消し、80～100語以内の英語での理由説明問題が長文問題中で出題されました。大問数も3問となりました（2019年の形式が復活）。これらは高得点を目指すに当たり小異であって、難関国立受験生が身につけておくべき力は根本的には変わりません。和訳を含む長文読解、条件作文、和文英訳を軸に核となる実力を高め、より多くの演習量をこなして本番での対応力、臨機な判断力を磨くことが肝心です。
- ・【早慶英語】学部ごとに異なる出題形式に対し特定学部には絞った対策も有効である反面、まずは基礎となる語彙と文法力を最高レベルにまで高め、並行して読解力と作文力を最高レベルにまで磨き上げ全学部に通ずる英語力を身につけることが合格への確実性を高めめます。灘ゼミでは、四技能の鍛錬を通して各スキルの相乗効果を得ることで効率の良い学びを実践します。そのためには早期の対策が有効であり、高1・2年生からの早期対策がおすすめです。灘ゼミ予備校部門「なだよび」（完全個別指導Premium）でも対応しています。

灘ゼミで学ぶメリット：

学校の素晴らしい授業とは異なる、あなた自身の志望大学合格に直結するアプローチで入試対策に取り組めます。

あなたの志望大学合格や資格取得の目標実現を熱望する講師自身が、その熱量で授業プランを練り授業を行います。

- ・【語彙】入試のあらゆる局面で“力を発揮する”のも“足を引っ張る”のも語彙です。基礎でもハイレベルでも語彙が不足すれば苦戦し、語彙力が高ければ則ち武器になります。これほどわかりきったことであっても、英語の発音・スペル・多義性・類義語の多さ等の複雑さは中高生の暗記の努力を無効化するかのようです。なかなか覚えられません。そしてすぐ忘れてしまいます。そのような一筋縄ではいかない単語学習の難しさを前提に、灘ゼミでは様々な方法を駆使して受講生をサポートします。
- ・【英文法】語彙と並んで4技能（読む・書く・聞く・話す）の基礎であり、入試英語の土台です。しかしながら、共通テストでは単独の文法問題が出題されず、本年度2024年度からの英検でももともと少なかった2級と準2級の文法問題がさらに減少するなど文法問題の存在感は薄まっています。さはさりながら、早慶の特定の学部や立命館・関学・近大などの私大では細かな文法知識が求められますし、国公立の記述問題では文法ミスが失点に繋がるので志望に添った対策が必要です。なおTOEICのRでも3割が単独文法語彙問題です。
- ・【長文読解】大問6つ、計10の長文が出題される共テRは言うに及ばず、国公立2次の難度の高い和訳や日本語説明、要約などが含まれる総合問題、また私大でも早慶から中堅まで難度に違いはあれ様々な形式とトピックで出題され配点も大きい領域です。いずれにしる国公立大志望か私大志望か、日本語を介さずに理解する速読スキルが必要か否か、記述力が要求されるか否か、あるいは両方など、志望大学のレベル・形式に即した対策を講じることが最も効果的です。灘ゼミでは、受講生に寄り添う読解対策を行います。
- ・【英作文】国公立2次の和文英訳と条件作文（自由作文・課題作文とも）は、付け焼刃のトレーニングでは対応できません。長期にわたる取り組みが不可欠です。平生の心掛けとしては、読解用の語彙のみならず英作文のための“使える語彙 active words”を意識的に蓄積する必要があります。その上で、和文英訳においては、そもそも英語に逐語訳できない日本語文の構造やくせのある日本語表現を自分の使える語彙の範囲でいかに表現するかという思考プロセスへの馴致や逐次の判断力の鍛錬が、条件作文では過去問のトピックを徹底分析した知識や考え方をベースに自己の意見と語彙を適切に融合させロジカルかつユニークな文章を紡ぐスキルの構築が必要です。
- ・【英検】講師には、3級合格者の準2級対策、準2級合格者の2級対策、2級合格者の準1級対策と、現在の級から上級への架け橋となる極めて属人的な授業スキルがあります。受講生ごとに個々の特性（意欲・学力）や学習条件（学習量・時間）をもとに計画的に受験級の連続合格を達成するプラン案をご提案することも可能です。早期の対策がより確実な成果につながりやすいのでお勧めします。
- ・【S-CBT】同日にスピーキングも含めた4技能の試験が行われるこの形式は、年計6回（3期各2回まで）受けられ、受験機会が広がります。灘ゼミでは、スピーキング対策をも含めた英検対策を一人の日本人講師によって受講できるので安心です。
- ・【英検リニューアル】本年度は問題形式に変更があります（S-CBTは5月実施から）。2級以上では従来の英作文に要約が、準2・3級ではEメールの作文が加わります（その他はHP等でご確認ください）。灘ゼミでは難しそうな変更点も平易に解説し添削も行います。

英検準1級（もしくは同等の実力）は、最難関大では標準的、難関大ではあると有利、中堅では絶対的有利。